

町田市の子どもと家庭の状況

2013年12月18日

町田市子ども生活部

町田市の子どもと家庭の状況

1. 人口

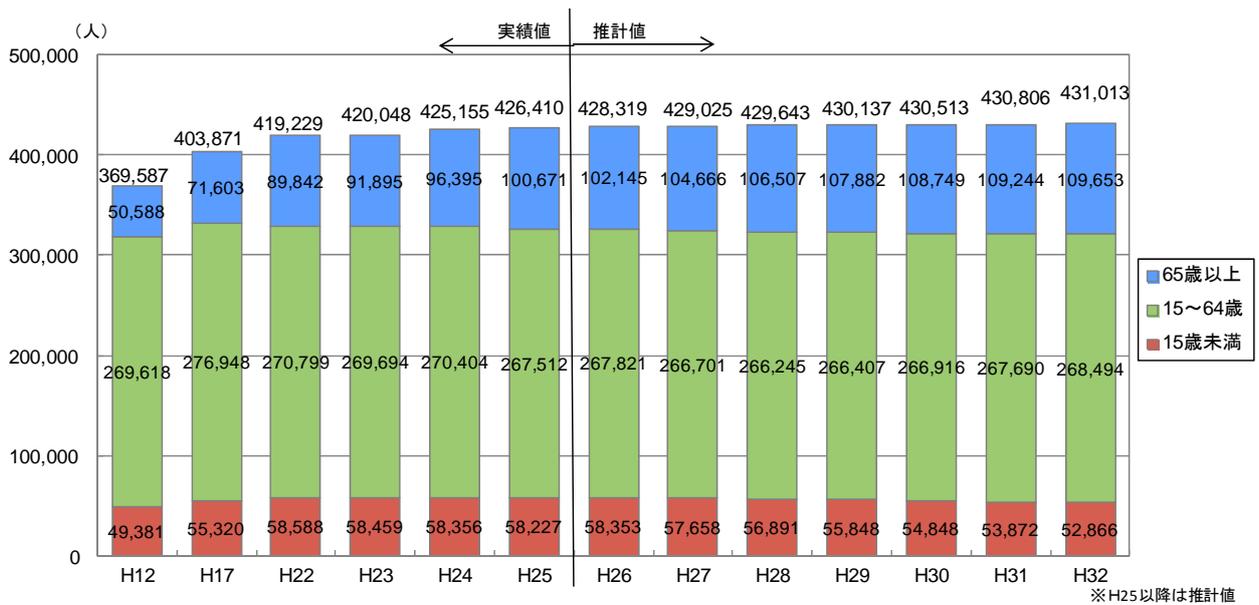
(1) 人口

本市の人口は一貫して増加しており、2004年には40万人を超え、平成25年10月1日現在426,410人となっています。

年齢3区分別人口の推移をみると、15歳未満の年少人口は、平成12年から平成22年まで増加していましたが、平成23年以降微減しています。15歳～64歳の生産年齢人口は、平成17年の276,948人をピークにそれ以降減少しているのに対し、65歳以上の老年人口は、平成12年以降一貫して増加しています。

本市の将来人口は、平成32年まで微増することが推計されていますが、年少人口は今後も減少し続け、平成32年には52,866人になると見込まれています。

■年齢3区分別人口の推移と人口推計

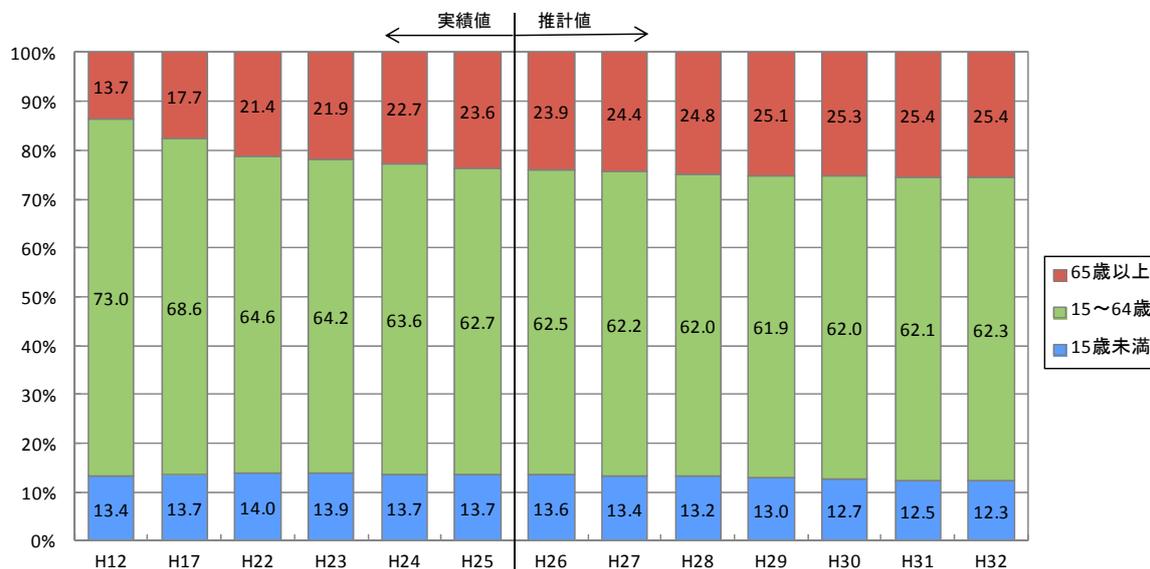


(注) 平成12年は1月1日現在であり、平成17年以降は各年10月1日現在である。

資料：町田市「年齢別人口表」「町田市将来人口推計結果」

総人口に占める年齢3区分別人口の割合をみると、平成25年現在年少人口が13.7%、生産年齢人口が62.7%、老年人口が23.6%となっており、全国の割合（年少人口12.9%、生産年齢人口62.1%、老年人口25.1%）に比べて、本市は老年人口の割合が低く、年少人口及び生産年齢人口の割合が高くなっています。

■年齢3区分別人口構成の推移



(注) 平成12年は1月1日現在であり、平成17年以降は各年10月1日現在である。

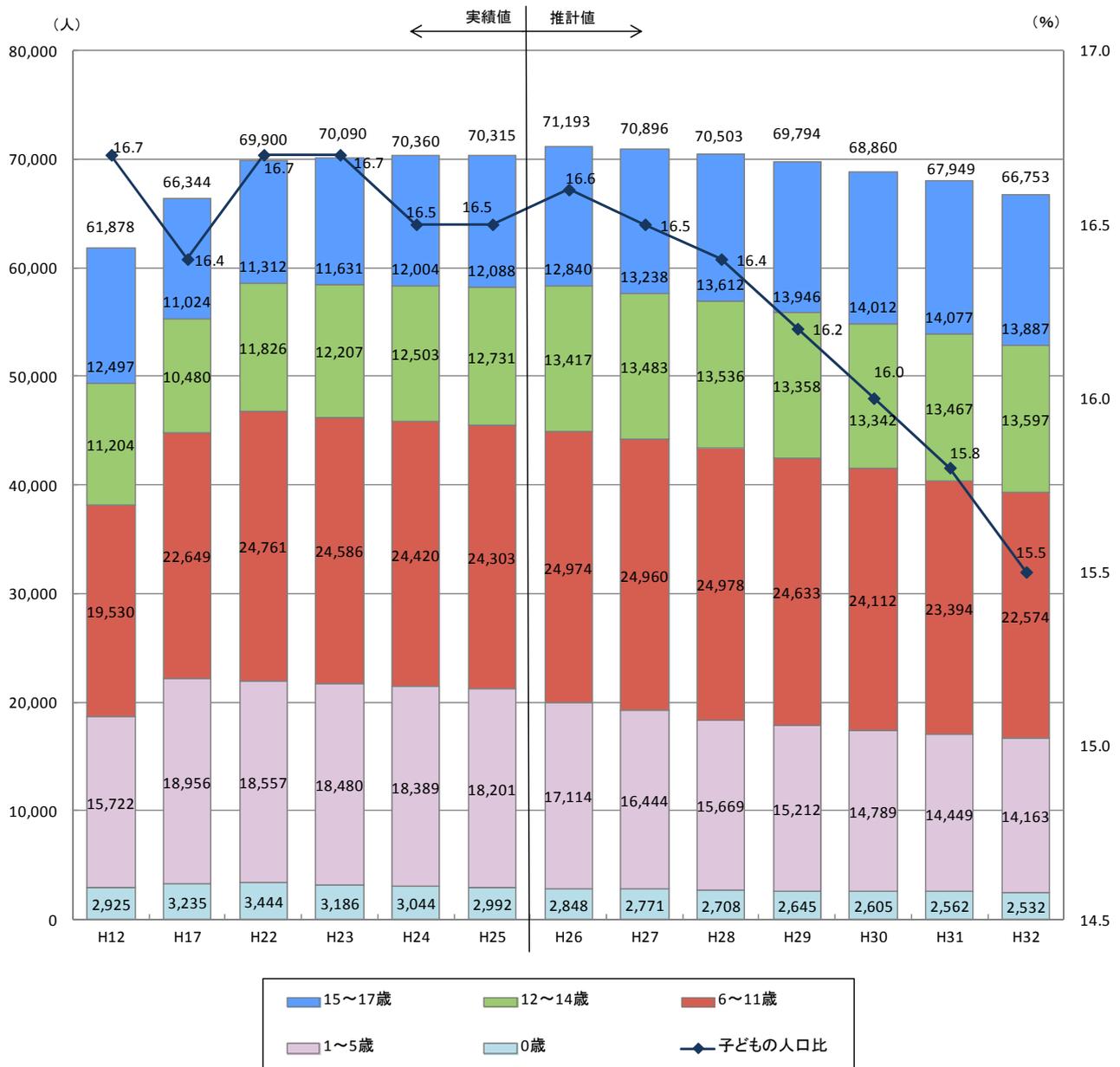
資料：町田市「年齢別人口表」「町田市将来人口推計結果」

(2) 子どもの人口

18歳未満の子どもの人口は、平成12年以降増加しており、平成25年10月1日現在70,315人となっています。

子どもの将来人口は、平成26年以降減少し、平成32年には66,753人になると推計されています。

■年齢別子どもの人口の推移



(注) 平成12年は1月1日現在であり、平成17年以降は各年10月1日現在である。

資料：町田市「年齢別人口表」「町田市将来人口推計結果」

0～14歳の年少人口を町別にみると、小川、小山田桜台、玉川学園、成瀬が丘、原町田、三輪緑山の各町では1ケタ台の割合を占めているのに対し、小山ヶ丘及び上小山田町では20%を超えています。

■町別年少人口（0～14歳）比率の現状（平成25年10月1日現在）

（単位：人）

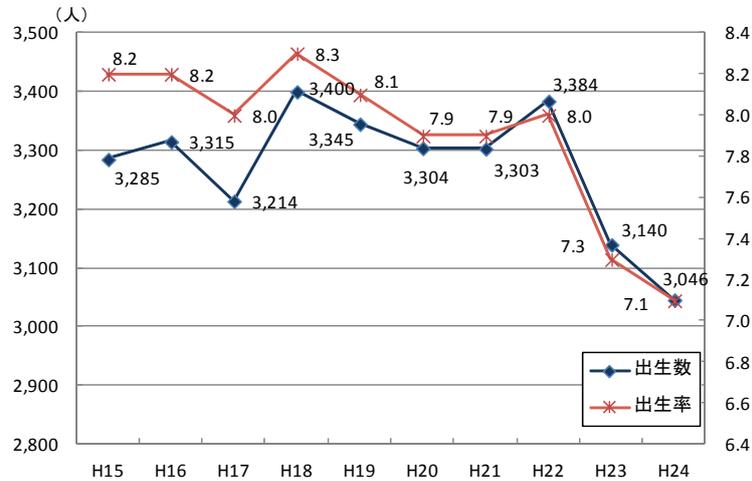
区分	人口	年少人口	年少人口比率	区分	人口	年少人口	年少人口比率
相原町	15,389	1,858	12.1%	鶴間	18,053	2,770	15.3%
旭町	4,908	549	11.2%	常盤町	4,750	796	16.8%
大蔵町	8,918	1,408	15.8%	中町	9,217	956	10.4%
小川	13,283	1,142	8.6%	成瀬	15,013	2,080	13.9%
小野路町	3,938	415	10.5%	成瀬が丘	4,621	454	9.8%
小山ヶ丘	10,083	2,467	24.5%	成瀬台	8,173	987	12.1%
小山田桜台	4,085	300	7.3%	根岸	1,960	297	15.2%
小山町	17,579	3,330	18.9%	根岸町	662	116	17.5%
金井	11,498	1,585	13.8%	能ヶ谷	10,913	1,683	15.4%
金井町	8,352	1,078	12.9%	野津田町	9,867	1,848	18.7%
金森	14,985	2,003	13.4%	原町田	12,951	1,219	9.4%
金森東	7,125	834	11.7%	東玉川学園	3,211	353	11.0%
上小山田町	4,812	1,032	21.4%	広袴	3,276	493	15.0%
木曽西	7,633	1,267	16.6%	広袴町	892	149	16.7%
木曽東	15,618	1,687	10.8%	本町田	26,493	2,998	11.3%
木曽町	361	64	17.7%	南大谷	10,490	1,697	16.2%
高ヶ坂	10,606	1,397	13.2%	南つくし野	5,699	712	12.5%
下小山田町	3,922	549	14.0%	南成瀬	10,932	1,412	12.9%
真光寺	5,617	896	16.0%	三輪町	6,442	900	14.0%
真光寺町	1,561	263	16.8%	三輪緑山	5,360	473	8.8%
図師町	8,285	1,444	17.4%	森野	12,977	1,534	11.8%
忠生	7,279	1,038	14.3%	薬師台	2,950	586	19.9%
玉川学園	16,651	1,629	9.8%	矢部町	1,581	273	18.5%
つくし野	6,785	767	11.3%	山崎	853	105	12.3%
鶴川	13,065	1,311	10.0%	山崎町	16,709	1,988	11.9%

資料：町田市「町丁別男女別年齢別人口【5歳階級】」

(3) 人口動態

出生数は、平成 22 年を除き平成 18 年以降減少傾向にあります。
出生率も、平成 18 年以降低下しています。

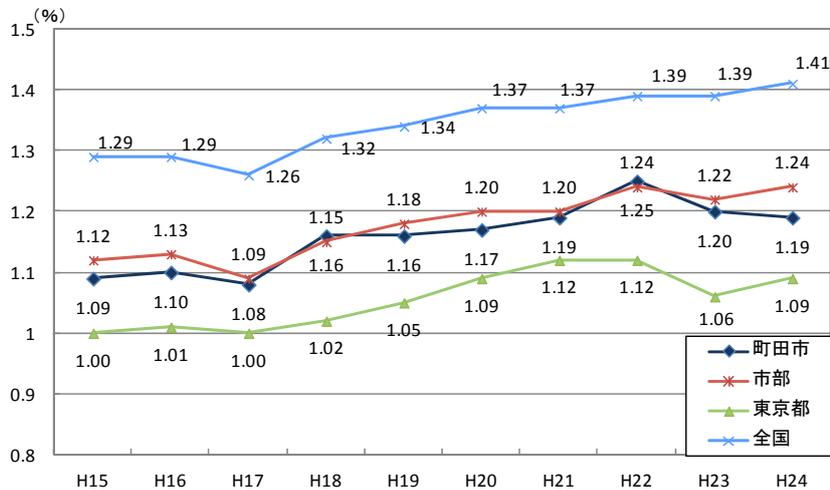
■出生数・出生率の推移



資料：東京都「人口動態統計」

合計特殊出生率は、平成 17 年以降上昇していますが、東京都市部平均を下回っています。

■合計特殊出生率の推移



資料：東京都「人口動態統計」

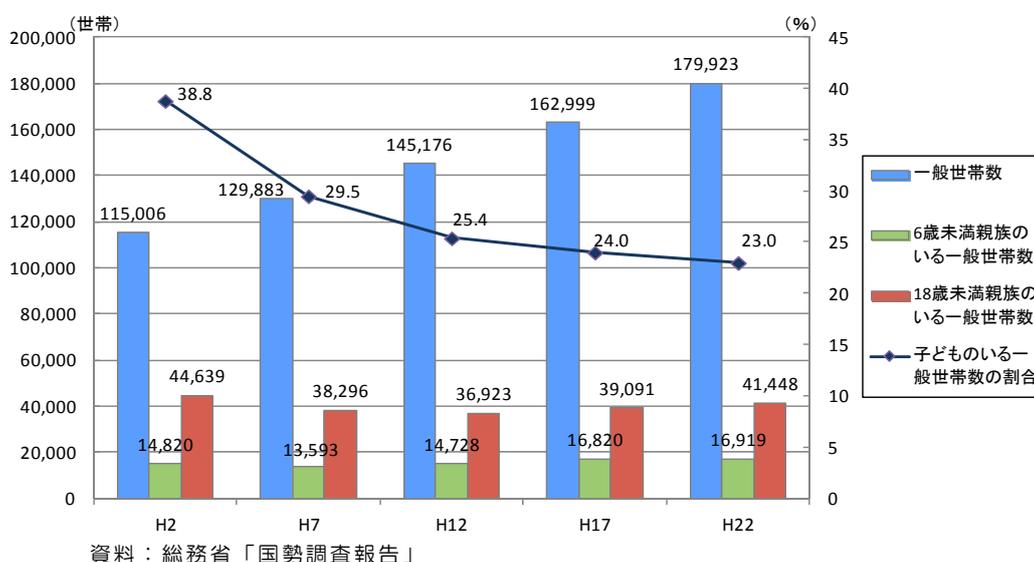
2. 子どものいる世帯の状況

子どものいる一般世帯数は、子どもの人口の減少に伴い6歳未満親族のいる一般世帯数が平成7年まで、18歳未満親族のいる一般世帯数が平成12年までそれぞれ減少していましたが、それ以降増加しています。

また、子どものいる一般世帯の割合を平成2年と平成22年とで比較すると、平成2年が38.8%と約3世帯に1世帯、平成22年には23.0%で約4世帯に1世帯が子どものいる世帯という状況になっています。

子どものいる一般世帯数を家族類型別にみると、都市化の進展や核家族化等により、年々夫婦と子どもの世帯の割合が上昇しているのに対し、三世帯の割合が低下しています。

■子どものいる一般世帯数の推移



■世帯の家族類型別一般世帯数の推移

(単位：世帯、%)

区 分		H2年	H7年	H12年	H17年	H22年
6歳未満親族のいる一般世帯	合計	14,820	13,593	14,728	16,820	16,919
	夫婦と子ども	12,529 (84.5)	11,623 (85.5)	12,791 (86.8)	14,790 (87.9)	15,004 (88.7)
	ひとり親と子ども	283 (1.9)	379 (2.8)	597 (4.1)	670 (4.0)	784 (4.6)
	三世帯	1,760 (11.9)	1,333 (9.8)	1,049 (7.1)	974 (5.8)	620 (3.7)
	その他	248 (1.7)	258 (1.9)	291 (2.0)	386 (2.3)	511 (3.0)
18歳未満親族のいる一般世帯	合計	44,639	38,296	36,923	39,091	41,448
	夫婦と子ども	35,858 (80.3)	30,682 (80.1)	29,702 (80.4)	31,544 (80.7)	33,548 (80.9)
	ひとり親と子ども	2,587 (5.8)	2,463 (6.4)	2,948 (8.0)	3,502 (9.0)	4,321 (10.4)
	三世帯	5,156 (11.6)	4,184 (10.9)	3,280 (8.9)	2,826 (7.2)	2,142 (5.2)
	その他	1,038 (2.3)	967 (2.5)	993 (2.7)	1,219 (3.1)	1,437 (3.5)

(注) () 内の値は、子どものいる世帯数に占める割合である。

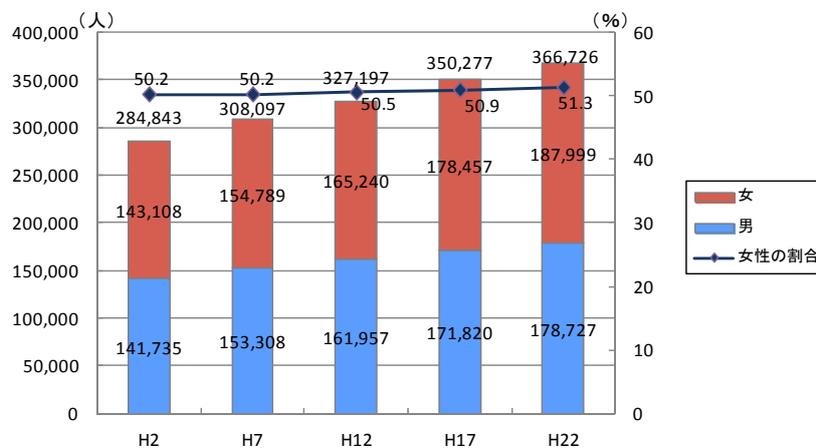
資料：総務省「国勢調査報告」

3. 働く女性の状況

女性の就業者数は、平成22年10月1日現在187,999人を数え、就業者全体の51.3%を占めています。また、平成2年と比べて44,891人、31.4%増加しており、この間の男性就業者の増加率（26.1%）を上回っています。

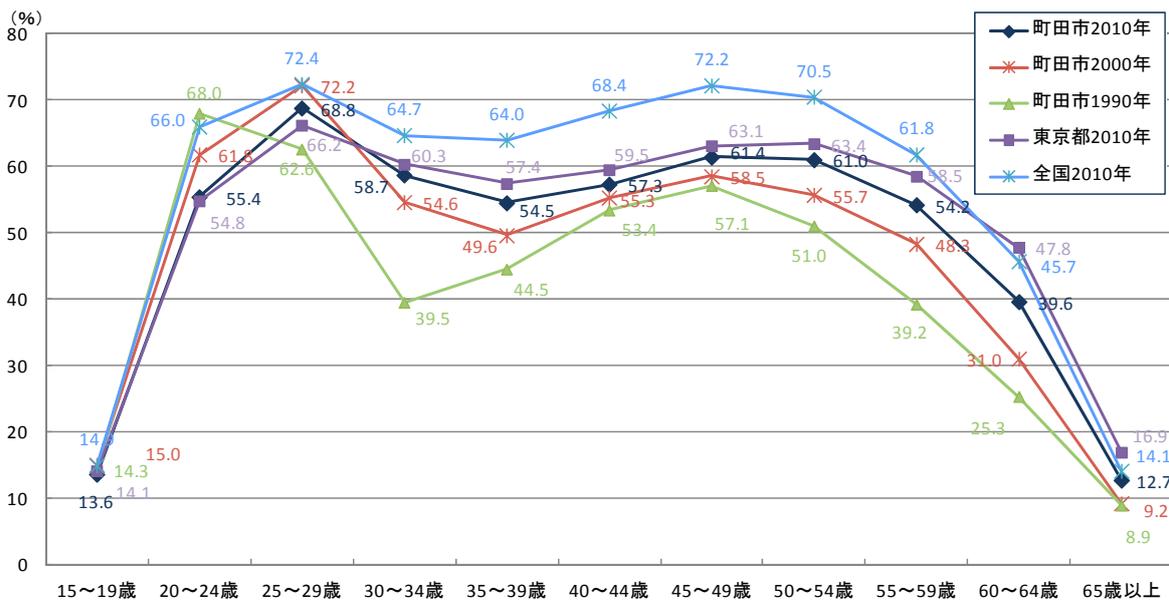
女性労働力を年齢別にみると、25歳～29歳と45歳～49歳を頂点とし、35歳～39歳を谷とする浅いM字型を示しています。かつては結婚や出産を機にいったん仕事を離れ、その後再び就労する女性が多くみられましたが、現在では結婚・出産後も就労する人が増加しています。

■男女別就業者数の推移



資料：総務省『国勢調査報告』

■年齢別女性労働力率の推移



資料：総務省『国勢調査報告』